

特別決議

ガザでのジェノサイドは許さない イスラエルは攻撃を中止し 即時停戦せよ

イスラム組織ハマスとイスラエルの戦闘が始まってから1か月がたちました。双方に甚大は犠牲者がでています。ガザでは1万人近くが犠牲となり、その4割が子どもと報道されています。イスラエル軍は病院や難民キャンプへの連続的な空爆を行っています。民間人に対する武力攻撃を禁じた国際人道法に違反する蛮行です。さらにガザを封鎖し、電気、水、食料、医薬品の供給を妨げパレスチナ人の生きる術を奪っています。国連の人権専門家はガザの事態について「ジェノサイド(集団殺害)の重大な危機」と厳しく警告しています。もとよりハマスの民間人への無差別攻撃は許されません。これへの自衛と称するイスラエルの武力攻撃の実態は国際法に違反するものであり、国際社会はガザでのジェノサイドを決して許してはなりません。

国連総会は人道的休戦を求める決議を 121 カ国の賛成で採択しました。

私たちは、ガザへの攻撃を停止すること、国際人道法に基づく全ての民間人の保護、人質の即時解放を求めます。そしてすべての当事者が国連決議に従うことを強く要求します。

私たちは、日本政府がイスラエルに対して国際法違反の蛮行をやめるよう求め、双方に即時停戦を働きかけることを強く求めます。

2023年11月13日

第36回日本高齢者大会 in 東京